

解答

- 一 問一 どうでもよく、重要なことではないこと。
問二 試合を見ないう形の質問
問三 試合の内容や経緯を選手自身に語らせること。
問四 1 アーティスト 2 エゴイスト 3 エッセイスト 4 スペシャリスト
5 ロマンチスト
問五 1 あけ 2 うっ 3 もらさ 4 ながし 5 むけ
- 二 1 ウ 2 ア 3 イ 4 エ
- 三 1 しおしお 2 ずけずけ 3 こせこせ 4 とげとげ 5 めくめく
- 四 1 a 公正 b 後世 c 構成 2 a 気候 b 紀行 c 起工
3 a 生産 b 精算 c 成算 4 a 帰省 b 氣勢 c 規制
- 五 1 空前絶後 2 起死回生 3 晴耕雨読 4 南船北馬 5 右往左往
- 六 1 冬 2 秋 3 夏 4 冬 5 春
- 七 1 A 責 B 積 C 績 ① 任 ② 年
2 A 救 B 求 C 球 ① 追 ② 野
3 A 諸 B 署 C 暑 ① 部 ② 残

解説

一 出典は、野口恵子『バカ丁寧化する日本語』。

問一 「二の次」には、大きく分けて“一番大事なことではない”と“後回し（急ぐことではない）”の二つの意味がある。「選手の声が聞きたい、選手の笑顔が見たいというファンには、これでよい」とあるから、「この言葉のここの意味」は、後者の意味で使われていて、「インタビュ어의内容は」そして重要ではない、ということである。

問二 「スポーツ選手に対してするべき質問とはどのような質問ですか」という問いの形を見れば、答えを探すのは容易だろう。「鋭い質問」と「疑問に思ったことをぶつける」という形の質問の二つしかないから、「四十文字以内」という条件を満たすのは後者だけである。

問三 「試合を振り返ってください。」などと、アナウンサーや解説者の仕事を選手に押しつけて」とあるから、試合を振り返るのは「アナウンサーや解説者の仕事」なのだということが分かる。そこで、「仕事を選手に押しつけ」とは、それを選手自身にさせることだということになる。

問五 「水」を使った慣用表現は数多くある。文脈から判断して、それぞれ、1「水をあける」（大きく差をつけること）、2「水を打ったよう」（大勢の人がしんと静まりかえっているさま）、3「水ももらさぬ」（警備が厳重なこと）、4「水に流す」（過去のいざこざをなかったことにして、さっぱりとした関係になる）、5「水を向ける」（相手の関心を引き、答えるようにしむける）という言葉が空欄にはいる。

二 それぞれの助詞「の」は、1その文節が体言（おやつ）を修飾する働きをしている、2「の」が名詞の代わり（私の私の本）、3質問や確認を表す終助詞、4その文節が主語であることを表す。

三 文脈から判断して、それぞれ1「しおしお」（気落ちして力がぬけたさま）、2「ずけずけ」（遠慮やかげんをせず、はつきりとものを言うさま）、3「こせこせ」（気持ちにゆとりがなく、ささいなことにこだわって落ち着かないさま）、4「とげとげ」（態度や言葉、つかいが荒くてきつい感じがするさま）、5「めくめく」（苦労や不自由がなく、満ち足りているさま）を表す副詞を答える。

四 同音異義語の問題。「後の〔語群〕」はなくても、答えられるようでありたい。

五 4 「南船北馬」(中国の南部は川が多く、船で行き、北部は陸地を馬で行くの意で、絶えず方々に旅行すること)を
のぞけば、いずれも基本的な四字熟語ばかりである。

六 1 草木が衰えるから「冬」。2 鳴く虫から「秋」。3 カッコウの声から「夏」。「新治(にいはり)」とは“新し
く開いた田畑や道”のこと。4 みかんむくから「冬」。5 目白は、繁殖期は5〜7月で、さえずりも盛んなので夏
の季語だが、仲秋から冬にかけて人里に降りてくる漂鳥である。「枝の雪ちらし」や「かすかに覚ゆ()」の気配を」
から、この歌の詠まれた季節は晩冬であろう。

七 「A・B・Cには、…同じ音読みで共通した部分を持つ字が入ります」を手がかりに、漢字のしりとりはそれぞれ、
―重貴―貴任―任意―意地―地面―面積―積年―年功―功績、2 救急―急追―追求―求心―心外―外野―野球―球技、
3 諸国―国外―外部―部署―署長―長短―短期―気絶―絶無―無残―残暑―暑気、となる。